

楽器をゼロから始めた初心者ばかり 中高年のための「すずめの学校」

「楽器を始めてみたい」「演奏を楽しみたい」、そんな中高年達の思いが形となり、2015年に結成された新しい楽団。平均年齢は60歳、現在180名が在籍しており、メンバーの大半は楽器初心者だ。練習は大所帯のため2つの班に分かれて行い、各パートそれぞれにプロの指導者がつく。一般の吹奏楽団では珍しい光景であり、基本からみっちり指導してくれるのが特徴だ。生徒達は意欲的に取り組み、レベルアップを目指し楽しみながら練習を重ねている。

2018年の5月には、アクトシティ浜松の大ホールで第2回目の定期演奏会を開催。アニメや時代劇、演歌など、誰もが楽しめる曲やパフォーマンス溢れる演出で、会場は熱気に包まれた。

■すずめの学校吹奏楽部 <http://www.geocities.jp/JF21FL2/>

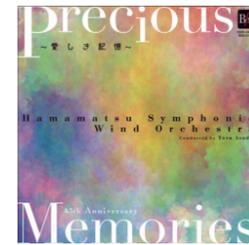
すずめの学校吹奏楽部



ちょっとした勇気をもって入学した生徒さんたちは、みんな生き生きと輝いている。何歳からでも楽しめるのが音楽の魅力である。



浜松交響吹奏楽団



オリジナルCDを全国で発売し、県内外の方に向けて積極的に発信している。

2018年4月発売の最新アルバム
『Precious Memories ~愛しき記憶~』
■浜松交響吹奏楽団 <http://hsw.jp/>

コンクール全国大会で 金賞を10回受賞する実力派の楽団

1973年に設立された浜松交響吹奏楽団は、浜松市地域の社会人や学生など約70名の団員で構成されている。定期演奏会や、幼稚園・小学校などでの音楽鑑賞会などを開催するほか、障がいのある人もない人も共に楽しむコンサートの企画・演出も行う。教育・文化・福祉活動にも取り組み、地元で愛される楽団を目指して活動している。

アマチュアといえどもその実力は全国トップクラスで、全日本吹奏楽コンクールにおいて数々の受賞歴がある。音楽監督・常任指揮者の浅田享氏の指揮により通算16回出場し、うち金賞10回を受賞。また、オリジナルCDを全国発売する等、吹奏楽を通じて「音楽の都・浜松」を広く発信している。

浜松市民吹奏楽団



浜松出身のトロンボーン奏者・塚本修也音楽監督(写真中央)が、演奏指導やコンサート構想などに尽力。年1回の定期演奏会等に向けて団員達の士気が高まるそうだ。

欧州への演奏旅行を行う 国際交流活動が盛んな楽団

浜松市地域の社会人と学生、約80名の団員が活動する、創団43年の浜松市民吹奏楽団。「興味があること、やりたいことにはひるまずチャレンジしていく」ことをモットーとし、100年を目指し、精力的に活動を行っている。特徴的なのは、独自の国際交流だ。過去には4度にわたり欧州演奏旅行を行い、ドイツやオーストリアの楽団とも交流を深めている。また、県外楽団との交流演奏会なども盛んに行っている。

■浜松市民吹奏楽団 <http://www.hamashisui.com/>



みよちあき
浜松市民吹奏楽団 幹事長 三好千晶さん

PICK UP!

学生の頃から30数年間、浜松市民吹奏楽団に所属している三好さん。演奏すること、ハーモニーをみんなで創る合奏に魅了され、育児や仕事と折り合いをつけながら、楽しんで活動が続いている。

アマチュア吹奏楽団はプロと違い、演奏会の企画や準備や運営などすべて自分達で協力し合って行うため、苦労は多い。しかし、その分強い団結力が生まれる。それが合奏の質にも影響し、より良いハーモニーが生まれるそうだ。

「浜松には、学生時代に音楽をやっていた方が多いと思います。ぜひ、やめないで市民バンドという形で続けて欲しいです」。音楽をもっと気軽に感じてもらうために、ホールだけでなくレストランなどでの演奏にも力を入れ、吹奏楽をもっと身近なものにしたいそうだ。

吹奏楽団に注目

ピアノだけじゃない!

浜松のアマチュア

AMATEUR
BRASS
BAND
HAMAMATSU

吹奏楽が盛んな浜松で
生きた音楽に触れる

管楽器の生産量が国内トップクラスの浜松市は、吹奏楽活動が活発な都市。市内の中学校や高校のほとんどに吹奏楽部またはオーケストラ部が設置されており、社会人吹奏楽団は20団体以上が活動している。全国に類を見ない吹奏楽団の宝庫であり、全国トップレベルの実力を誇る楽団から、初心者が多いサークル楽団まで多種多様だ。

また、浜松ではさまざまな音楽コンクールやイベントが一年を通して開催されており、市民は「生きた音楽」に触れる機会が多い。吹奏楽愛好者にとって恵まれた環境が整っている。

アザレア・ママズ・アンサンブル



メンバーの共通点は「育児中のママ」 子育てしながら吹奏楽を楽しむ

演奏曲は子ども達と楽しめる人気アニメの曲や童謡が中心。地域の人々に楽しんでもらうことをモットーとし、保育園や育児サークル、各種イベントが主な発表の場だ。

アザレア・ママズ・アンサンブルは、音楽を愛するママ達が吹奏楽を楽しむ場、交流の場として2005年に発足。「何も犠牲にしない」「子どもと一緒に楽しめる」そんなコンセプトのもと、約60名のママが活動を行っている。練習は平日の午前中で、子どもを連れての参加が可能。育児中の趣味や息抜きに、我が子と一緒に音楽を楽しんでいる。

■アザレア・ママズ・アンサンブル <https://www.c-sqr.net/c/azalea/>



2018年で6回目の開催となったファミリーコンサート、吹奏楽演奏会とは一味も二味も違う、ママだからこその演出が評判。子どもも大人も、来場者みんなが楽しめる。